

ナノバイオ工学研究室

令和 8 年度近況報告

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。当研究室は 2016 年度に研究室の名称を生物物理工学研究室からナノバイオ工学研究室に改めました。2026 年 4 月現在は内田准教授、山崎助教、ポスドク 1 名、修士課程 5 名、学部 4 年生 3 名が在籍しております。

具体的な研究内容としましては、グラフェンおよびグラフェン上のナノ構造体の原子分解能イメージング、細胞の凍結保存、ウルトラファインバブル含有水による氷・ハイドレートの核生成効果、原子間力顕微鏡による表面ナノバブルの観察、単原子から結晶核形成の素過程観測に関する研究を進めています。他大学、研究機関との共同研究も活発に行っています。卒業生の皆様におかれましては、健康と一層のご活躍を祈念いたしております。札幌へお越しの際には是非、当研究室にお立ち寄り下さい。毎年複数名の来訪があり、近況報告を話すのが楽しみとなっております。研究室一同心よりお待ちしております。ここ数年の卒業生の間では東京でも会う機会を作っているとの連絡も頂いております。卒業後も皆さんの交流があること、大変嬉しく思っています。東京、札幌での再会を楽しみにしております。